

自衛隊神奈川地方協力本部

航空自衛隊一般曹候補生入隊式（熊谷基地）での再会



自衛隊神奈川地方協力本部上大岡募集案内所（所長 荒木3陸佐）の広報官は、上大岡募集案内所から応募して入隊した3名の女性を激励するため、4月9日（火）、航空自衛隊一般曹候補生入隊式が開催された航空自衛隊熊谷基地（埼玉県熊谷市）を訪ねた。

熊谷基地で女性の新人教育を行うのは今年度が初めてで、女性入隊者の新人教育を行う航空自衛隊の施設としては、防府南基地（山口県防府市）に次いで全国で2か所目となる。

当日は、あいにくの天気だったものの、基地の桜がきれいに咲いていて、初の女性入隊者たちの門出を祝福しているように感じられた。

無事入隊式を終えた入隊者たちは、式典終了後の家族との懇談の時間集まってくれて、広報官に「今は、毎日が充実していて楽しい」、「とりあえずは無事に卒業できるように頑張ります」、「将来は特別航空輸送隊で空中輸送員を目指したい」などと、元氣よく笑顔で話してくれた。

今後の目標について楽しそうに話す彼女たちの姿を見て、応募から入隊まで親身になって丁寧にフォローしたことを思い返し、安堵や達成感とともに、募集業務のやりがいを感じることができた。

上大岡募集案内所は、「今後も入隊者をしっかりフォローし、自衛官としての成長を見守りたい」としている。

海上自衛隊砕氷艦「しらせ」の体験航海



自衛隊神奈川地方協力本部上大岡募集案内所（所長 荒木3陸佐）は、4月14日（日）、海上自衛隊を希望している募集対象者2名を海上自衛隊の砕氷艦「しらせ」の体験航海に案内した。

今回の体験航海は、4月13日（土）・14日（日）に横浜港の山下ふ頭（横浜市中区）で一般公開を行った「しらせ」の横須賀基地への帰路に実施されたもので、「しらせ」に乗艦した参加者たちは、横浜港で多くの人たちに見送られ、横須賀までの約2時間の航海に出発した。

当日は、初夏を思わせる暑さの中、勢いよく進む「しらせ」の艦上では東京湾の海風が気持ちよく、海上にはイルカも姿を見せ、参加者たちは、甲板から海を眺めたり、艦内を見学したりするなど、思い思いに体験航海を楽しんでいた。「横須賀地方総監と話す機会があって、とても勉強になりました」と笑顔で話す参加者もいて、乗艦前から楽しみにしていた参加者たちの期待を裏切らない広報活動となり、採用試験に向けたモチベーション向上に寄与できたと思う。

上大岡募集案内所は、「今後も各種イベントを活用して自衛隊の活動や幅広い職域や職種に対する理解を深めてもらい、自衛官を将来の職業の選択肢の一つとして視野に入れてもらえるよう、広報活動に尽力する」としている。

ハローワーク川崎にて自衛官採用制度の個別説明会を実施



自衛隊神奈川地方協力本部川崎出張所（所長 宮城英明2陸尉）は、令和6年4月19日（金）、ハローワーク川崎（川崎市川崎区）に広報ブースを設置し、自衛官の採用制度の個別説明会を実施しました。

川崎出張所では、毎月第3金曜日にハローワーク川崎で個別説明会を実施しており、自衛隊に興味のある方が広報官から直接説明を聞けるようにしています。

当日は、ハローワークへの来場者が少ない4月ということもあり、ゆったりとした環境で説明を聞くことができるオープンな雰囲気の中、昔、自衛隊を志望していた方や、戦車が好きな方など、様々な方がブースに立ち寄って、「自衛隊はきついでしょ?」「体力がないので自信がないです」などと広報官に気軽に話しかけてくれました。

来場者に対応した広報官は、「今回は、自衛官候補生に興味がある方と和気あいあいと話すぐことができました。質問にも丁寧に回答し、ちょっとした誤解を解いて、自衛隊はきつそうだと感じている方にも入隊に向けてチャレンジしてみようかなと思っていただけるように、背中をそっと押すような対応を心掛けています」と話してくれました。

川崎出張所は、「現在、自衛官には多様な採用制度があり、予備自衛官も52歳未満の方まで応募することができます。今後も幅広くたくさんの方と話すことを楽しみに募集活動に励んでいきたい」としています。